

すいた環境サポーター養成講座 第4回目

日時：9/20(木)18：30～20：30

場所：千里市民センター8階 多目的ルーム(1)・(2)

◆プレゼンテーション

講師：特定非営利活動法人大阪府民循環型社会推進機構 事務局長 逸見 祐司

環境の担い手として活動するにあたり、プレゼンテーションは助成金や寄付金の獲得、事業のPR、セミナー等で活用されます。その対象は子どもも含めて多様な方々が想定されます。このことから何を目的とし、誰を対象としているのかによって、必要とされるプレゼンスキルは異なってきます。



本日はどの目的・対象でも必要となる「基本的な説明法」について学びます。

プレゼンテーションは話し方が重要です。聞き手の理解を促し、いかに話者の話したい事を聞き手に正確に伝えるのがポイントになります。

この実習として、「ワンウェイコミュニケーション」を行いました。

話者と聞き手に分かれて、話者はとある図形を言葉だけで聞き手に説明します。聞き手はそれを聞いて、どのような図形を話者が話しているのかを聞き取ります。



図形の形・数・辺の長さ・角度・位置など、目で見ればどのような図形が一瞬で分かりますが、言葉だけだと上手く伝わりません。完成した図形は十人十色で、話者が伝えたかった図形に近いものもあれば、全く異なるものを描いた受講者もいます。

では、どうしたら話者が伝えたい事を聞き手に伝えるか。これには話し方にいろんな工夫が必要になります。



大きな声で、ゆっくりと語り、重要な点は強調して……という基本的な話し方だけではなく、アウトラインや定義の重要性、ストーリー構成、聞き手のイメージ力の促し方などのノウハウについて、グループ毎の振り返りを通じて、受講者は学びました。

◆ふりかえり

第4回目も、個人でのふりかえり、グループでのふりかえりをして、終了しました。